

平成26年度決算の状況

平成26年度一般会計決算をわかりやすくお知らせするために家計にたとえてみました。

■町税などの自主財源から見てみますと、月収34万円の家庭です。

月収34万円の家庭が月70万円の生活をしています。

「どのように生活を切り詰めるか？」が、直面する最大の課題となっています。

平成26年度一般会計決算額		家計(月計)にたとえた場合		
前年度繰越金	千円 591,882	前月からの繰越金	円 59,188	% 8.4
町税などの自主財源	3,392,671	月収(給料など)	339,267	48.4
国・県支出金・交付税など	2,617,777	親などからの支援	261,778	37.4
町債などの借入金	385,600	ローン借入	38,560	5.5
基金繰入金	17,843	預貯金の取り崩し	1,784	0.3
歳入合計	7,005,773	収入合計	700,577	100.0
人件費	933,184	食費など生活費	93,318	13.8
物件費	1,298,226	光熱費など住居費	129,822	19.2
扶助費	1,431,856	医療費・保険料など	143,186	21.2
繰出金	731,799	別生計の家族への仕送り	73,180	10.8
投資的経費・維持補修費	647,659	自宅の増改築、修繕費	64,766	9.6
補助費等・投資及び出資金・貸付金	679,999	教養・娯楽費など	68,000	10.1
積立金	470,943	貯金	47,094	7.0
公債費	551,790	ローンの返済	55,179	8.2
歳出合計	6,745,456	支出合計	674,545	100.0
歳入歳出差引額	260,317	翌月への繰越金	26,032	

一般会計の決算は、歳入総額7,005,773千円、歳出総額6,745,456千円となり、歳入歳出差引額では、260,317千円となっています。翌年度へ繰越すべき財源である5,816千円を差し引いた実質収支額は、254,501千円の黒字となっています。

一般会計款別歳入歳出決算額

歳入

款	26年度		25年度		対前年度比 (A)/(B)×100 %
	決算額(A) 千円	構成比 %	決算額(A) 千円	構成比 %	
1 町税	2,986,994	42.6	2,917,589	41.7	102.4
2 地方譲与税	56,060	0.8	57,927	0.8	96.8
3 利子割交付金	7,610	0.1	9,697	0.1	78.5
4 配当割交付金	39,859	0.6	21,497	0.3	185.4
5 株式等譲渡所得割交付金	25,250	0.4	66,670	1.0	37.9
6 地方消費税交付金	229,515	3.3	188,762	2.7	121.6
8 自動車取得税交付金	5,115	0.1	11,824	0.2	43.3
9 地方特例交付金	15,900	0.2	14,584	0.2	109.0
10 地方交付税	929,973	13.3	999,293	14.3	93.1
11 交通安全対策特別交付金	4,149	0.1	4,615	0.1	89.9
12 分担金及び負担金	159,707	2.3	156,553	2.2	102.0
13 使用料及び手数料	93,325	1.3	88,969	1.3	104.9
14 国庫支出金	828,189	11.8	727,996	10.4	113.8
15 県支出金	476,157	6.8	504,676	7.2	94.3
16 財産収入	35,790	0.5	32,705	0.5	109.4
17 寄附金	808	0.0	561	0.0	144.0
18 繰入金	17,843	0.3	155,567	2.2	11.5
19 繰越金	591,882	8.4	499,955	7.2	118.4
20 諸収入	116,047	1.7	116,524	1.7	99.6
21 町債	385,600	5.5	415,900	5.9	92.7
合 計	7,005,773	100.0	6,991,864	100.0	100.2

歳出(目的別)

款	26年度		25年度		対前年度比 (A)/(B)×100 %
	決算額(A) 千円	構成比 %	決算額(A) 千円	構成比 %	
1 議会費	93,608	1.4	90,137	1.4	103.9
2 総務費	656,772	9.7	590,913	9.2	111.1
3 民生費	2,321,931	34.4	2,219,413	34.7	104.6
4 衛生費	668,496	9.9	731,534	11.4	91.4
6 農林水産業費	34,901	0.5	27,171	0.4	128.4
7 商工費	141,754	2.1	24,932	0.4	568.6
8 土木費	657,925	9.8	395,270	6.2	166.4
9 消防費	424,844	6.3	355,405	5.6	119.5
10 教育費	722,001	10.7	959,163	15.0	75.3
12 公債費	551,790	8.2	493,086	7.7	111.9
13 諸支出金	471,434	7.0	512,958	8.0	91.9
14 予備費	0	0.0	0	0.0	0.0
合 計	6,745,456	100.0	6,399,982	100.0	105.4

平成26年度一般会計における主な取り組み

総務費

社会保障・税番号制度導入支援業務 4,568千円

マイナンバー制度導入に伴う例規整備支援及び特定個人情報保護評価書作成支援業務を行いました。

マイナンバー制度対応システム改修 13,046千円

マイナンバー導入に向か個人番号が付番できるように税及び住民基本台帳システムの改修を行いました。

固定資産評価替業務 13,608千円

固定資産の評価見直しは3年ごとに行っています。土地・家屋に関する異動等の調査並びに評価額の基礎となる路線価等を見直し、均衡化と適正化を図りました。

滞納整理システムの導入 9,709千円

懸案であった滞納整理システムを指名競争入札により導入しました。システムを活用し、徴収率の向上に努めます。

衆議院議員選挙 6,860千円

平成26年12月14日投開票日に向け、県選管と連携しながら諸準備を進め、適正に選挙事務を執行することができました。

民生費

福祉手当の支給 5,100千円

障がい者や母子家庭の方などに福祉手当を支給し、福祉の増進を図りました。

重度心身障害者等医療費助成事業 45,950千円

重度心身障がい者の健康の維持や生活の安定に寄与するため、医療費の助成を実施しました。

臨時福祉給付金の支給 40,840千円

消費税の引き上げに伴い、住民税非課税者（課税者の被扶養者及び生活保護受給者

等を除く)を対象に1人1万円(年金受給者等に5千円の加算)の給付を行いました。

敬老祝金の支給 **2,715千円**

町内に在住の満年齢77歳・88歳・99歳・100歳以上の高齢者に対し敬老祝金を支給し、長年社会に貢献された方々の長寿をお祝いしました。

児童手当の支給 **423,275千円**

中学校終了前までの児童を養育している方に、家庭における生活の安定と児童の健全な育成のために子ども手当を支給しました。

乳幼児の保育 **430,680千円**

町立保育所1施設と私立保育所5施設において、保護者の就労などの理由で保育に欠ける0歳から5歳児までの乳幼児の保育を行いました。

子ども子育て支援事業計画策定業務 **2,668千円**

子ども・子育て支援法施行により、昨年度実施したニーズ調査の結果から課題分析を行い、子ども子育て支援計画を策定しました。

衛生費

乳幼児等はぐくみ医療費助成事業 **98,612千円**

子育て世帯の負担軽減を図るために、小学校6年生までの医療費の助成を実施しました。

救急医療対策事業 **5,310千円**

夜間・休日などの救急医療体制を整備し、住民の安全・安心を確保するため、在宅当番医制事業・病院群輪番制病院運営事業の各事業に対して経費の一部を負担しています。

浄化槽設置整備事業 **10,794千円**

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽(10人槽以下)を設置される方に補助金を交付しました。

ごみ排出モニター/環境啓発事業/花づくり事業 **1,599千円**

ごみ減量化・資源化への取り組みを推進するため、3ヶ月間各家庭から排出される

ごみを計量・記録し、目標を持ってごみの減量化・資源化に取り組んでもらえるよう「ごみ排出モニター」事業を実施しました。町内商業施設店舗前において、ごみ分別・4R運動啓発街頭キャンペーンを実施しました。また、犬のフン害防止パトロールや空き地などを利用した花づくりを実施し、各地域の環境美化・緑化を推進しました。

清掃センター焼却施設補修工事

16,632千円

策定した5カ年計画に基づき1号濾過式集塵機クリーンルーム補修及び濾布交換、灰シュートケーシング補修を実施し、焼却能力の維持に努めました。

北島町住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

2,815千円

クリーンエネルギーの利用を促進し、地球温暖化の防止を図るため、住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、1KW当たり2.5万円（上限4KW、10万円）の補助を行いました。

農林水産業費

菊苗配布及び菊花展の開催

1,444千円

美しいまちづくりの一環として、町花である菊苗を6月に町民の方々に配布し、10月下旬に町内小学校や花と盆栽の会会員、町民の方より出品していただき菊花展を開催しました。

商工費

チューリップ公園事業

3,324千円

町民のふれあいの場や北島町の県内外への発信拠点として、チューリップフェアを開催、町内外から多数の来園者がありました。また「お任せコーナー」を設け、植付けから球根の掘り取りまで、住民との協働作業推進にも取り組みました。

工場設置奨励事業

111,380千円

工場を新設又は増設した2企業に対して、北島町工場設置奨励条例に基づき奨励金等を交付し、産業の振興を図りました。

商工振興事業

20,218千円

北島町商工会が行うプレミアム付き商品券事業、エコ推進事業、経営改善普及事業

などにより、住民の購買意欲高揚と事業者の連携意識を高め、町内の商工業活性化を促進していくため補助と事業連携を行いました。

土木費

道路性状等点検調査業務 8,982千円

北島町内の主要な幹線道路及び避難路の計画的かつ効率的な維持管理を図るため、路面性状調査及び路面付随施設等の点検調査を実施しました。

北島町中村地区地区計画策定事業 4,417千円

北島町中村地区の市街化調整区域内の開発計画につき、計画的な市街化を図るため地区計画の策定事業を行いました。

都市再生整備計画事業 186,468千円

豪雨等による水害被害防止を目的とした排水機場の整備や災害時に避難所となる施設の耐震化を行い、安心・安全で快適な生活環境を創造するため次の事業が行われました。＜排水機場改修設計業務等、町民体育センター耐震及び改修工事、老人憩の家耐震化改修工事、江尻防災施設新築設計業務、グリーンタウン防災施設新築設計業務＞

消防費

太郎八須地区一時避難場所整備工事 30,999千円

高速道路区域を活用した津波避難場所として、太郎八須地区に900名が収容可能な避難場所を整備しました。

中村老門地区津波避難タワー整備工事 41,251千円

高速道路区域を活用した津波避難場所として、中村老門地区に350名が収容可能な避難場所を整備しました。

木造住宅耐震診断事業 7,660千円

予測される大地震に備え、その被害をできるだけ少なくするための対策として、木造住宅の耐震診断を平成16年度から開始しています。今年度は34戸の耐震診断を実施しました。また耐震診断を受けた住宅で、診断の結果、危険（倒壊または大破壊の可能性あり）と判断された住宅について改修費用の一部を補助しました。今

年度は7戸について実施しました。

教育費

北島南小学校エレベーター改修工事 23,167千円

階段の昇降が困難な児童が利用できるように、給食用エレベーターの改修工事を行いました。

国際交流研修事業 4,325千円

北島町内の中学生14名が、姉妹校のアールマリオット校と交流、現地にてホームステイ、ハロウィンコンテスト見学など異文化について体験することができました。

図書資料等の充実化 4,650千円

書籍資料と映像音響資料を購入し、図書館機能の一層の充実化に努めました。書籍は4,398点、視聴覚資料は39点の増加となりました。

歴史資料の公開等 22,670千円

三木安平氏寄贈の歴史資料及び文化財保管のための棚等を設置・収納を行いました。